



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者 齋藤 庄司
編集者 沢田 光広
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2012.11.10 第1451号

大会 特集号

第68回定期地方大会

組織拡大に全組合員が全力を

不公平感のない職場作りも意思統一

地方本部は、第68回定期地方大会を10月12日・13日の両日盛岡市・つなぎ温泉「愛真館」で関係者約100人が参加の中で開催した。

方針の討論では、組織拡大の取り組み、エルダー職場をはじめとする厳しい職場の労働条件、安全・安定輸送、岩泉線・被災地の各線区の復旧、反原発・脱原発、労働協約の締結問題などで13人が発言し議論が行われた。

そして、向かう1年間は「組織の拡大」「不公平感のない明るい職場作りと労働条件の改善」「安全・安定輸送の確立と公共交通を守る闘い」「平和と民主主義・国民的課題を守る闘い」「反原発・脱原発、再生エネルギー政策への転換」など多くの闘いに組合員が全力で取り組んでいくことを意思統一した。



＝大会は約100人が参加し開かれた＝

大会は、阿部副委員長長の開 中41人の(12時55分現在)の 会挨拶で始まり、代議員42人 出席を確認し大会が成立して

奈良岡・岩脇議長回で進行

副議長に岩脇副議長(盛岡運輸区分会)を選出し、議長団の挨拶を受け議事に入った。最初に、齋藤執行委員長が

地方本部を代表し挨拶。続いて伊澤昌弘社会民主党岩手県連合代表をはじめ多くの来賓から方々から支援・激励・連帯の挨拶をいただいた。その後、沢田執行委員長がメッセージの紹介と日程を説明。菊池執行委員長が大会期日の延期承認を提案、承認され、選挙管理委員会の設置を確認、協約・協定締結を佐々木書記長が提案、承認された。引き続き書記長から経過の報告と2012年度の運動方針の提案。経過の質疑は無く承認され、小林副委員長が決算報告、高橋会計監査委員の監査報告で決算も承認された。最後に八重樫俊昭選挙管理委員長(盛岡

電気分会 から地方委員の告示が提案され1日目を終わった。

2日目は9時50分から再開し組織検討委員会の答申が提案、承認され、機関紙コンクリートの表彰を行い、2012年度の運動方針の討論に入った。討論では13人が組織拡大、

職場実態、安全問題などで発言。執行部答弁と書記長集約が行われ方針を拍手で承認し確立。小林副委員長が予算案を提案、承認され昼食休憩に入



伊澤社会民主党 岩手県連合代表



柴谷岩井県 交運労協議長



高野東日本 本部執行委員長

来賓・メッセーじ

【来賓】(挨拶順) 伊澤昌弘社会民主党岩手県連合代表(細川光正幹事長同行)、若山明夫日本共産党岩手県委員書記長、柴谷正孝岩手県交通運輸労働組合協議

会議長、小野寺政志東北労働組合本部部長、来内金庫岩手県本部部長、浦山正年岩手県民共済会専務理事、太田博二全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

東日本事業本部東北支所事業副部長(吉田和弘次長同行)、高野苗実国労東日本本部執行委員長、高嶋昭一鉄道退職者の会盛岡地方連合会会長、国労職員団(斎藤憲雄青森市議会議長、星敦子北上市議会議長、山崎道夫矢巾町議会議長、佐々木香代子家族会会長、豊

巻浩也平和環境岩手県センター議長

【メッセーじ】(順不動) 岩手県高等学校教職員組合、岩手県交通労働組合、全農林労働組合東北地方岩手県事務所、全自交労働岩手地方本部、全水道盛岡水道労働組合、全

方針討論

労働条件の改善、組織拡大 被災地の鉄道復旧など討論

代議員(特別代議員)の13人が発言

方針討論では、13人が発言した。要旨は次の通り。

◎竹内俊博代議員 (北上駅連合分会)

◎蝦名忠夫特別代議員

齋藤委員長あつじ(要旨)

東日本震災から1年7ヶ月が経過しました。瓦礫処理は進まず、復興対応の遅れにより被災者の生活再建は進んでいません。被災地にしっかりと向き合う政府の対応を望みます。また、被災地域のJR線の復旧も遅々として進んでいません。BRTにより仮復

旧した線区もありますが、地元住民が求める鉄道の復旧に向け、関係機関と連携し取り組んでいきます。本年10月1日からは検修職場の一部が外注化されるなど、JR職場は外注化施策が進められ、仕事点検・安全総点検運動の取り組みを強化しなければなりません。労働条件の切り下げは安全を脅かす要因となることから、JR職場・パートナー会社の労働条件の改善を求めていきます。

安心して利用できる安全な鉄道路線の確保に労働組合のチェック機能を発揮していきます。新人事・賃金制度が公正・公平に運用されているかをしっかり調査し、必要な改善を求め、今後も一切の差別を許さない立場で制度の運用を求めたいと思います。労働協約には様々な意見が出されていますが、会社と正対して労働条件の向上を図る闘いを進め、組織拡大にも優位性を発揮するとの考えから労働協約締結への組合員の理解を訴えます。

組織の強化・拡大が喫緊の最重要課題であることは全組合員が一致した認識として受

入った。昼食後、組織検討委員会設置を確認、スト権投票を行い投票代議員41人全員の賛成でスト権を確立。続いて、八重樫選挙管理委員長が地方委員が定数の通りの立候補で無投票当選での選出が報告された。最後に大会宣言を小野寺婦人部長が読み上げ提案、採択し、議長団が退任。小林副委員長長の閉会挨拶後、齋藤委員長長の音頭で団結カンパニーを三唱し大会を終了した。

3月の北上市議選では、推薦候補の3期目の当選を勝ち取りました。組合員の奮闘に敬意を表します。来る解散総選挙は国民生活を守り、平和・人権・民主主義擁護を堅持する政党の躍進が不可欠です。推薦候補の当選に奮闘し合うことをお願いします。

◎岩泉線、JRは運転再開断念発表、地元住民と平行線をたどっている。再開に向け地区での署名など取り組んだ。また、山田線は4市町村が鉄道の再開を求めているが、JRはBRTでの再開を表明している。今後どう運動を展開していくのか。

◎小原典昭代議員 (青森駅連合分会)

▽青森地区協代表

▽JR北海道江差線の4月・9月の脱線事故、カーブで速度制限の個所だ。貨物台車が悪いのか地盤か、原因究明を図り安全輸送を求める。

▽青森駅連の闘いに学び組織対策取り組んでいる。組織拡大の運動上でも長期遠距離通勤者解消の取り組みが大切だ。

▽岩泉線、JRは運転再開断念発表、地元住民と平行線をたどっている。再開に向け地区での署名など取り組んだ。また、山田線は4市町村が鉄道の再開を求めているが、JRはBRTでの再開を表明している。今後どう運動を展開していくのか。

▽青森地区協代表

▽JR北海道江差線の4月・9月の脱線事故、カーブで速度制限の個所だ。貨物台車が悪いのか地盤か、原因究明を図り安全輸送を求める。

▽青森駅連の闘いに学び組織対策取り組んでいる。組織拡大の運動上でも長期遠距離通勤者解消の取り組みが大切だ。

▽岩泉線、JRは運転再開断念発表、地元住民と平行線をたどっている。再開に向け地区での署名など取り組んだ。また、山田線は4市町村が鉄道の再開を求めているが、JRはBRTでの再開を表明している。今後どう運動を展開していくのか。

▽青森地区協代表

▽JR北海道江差線の4月・9月の脱線事故、カーブで速度制限の個所だ。貨物台車が悪いのか地盤か、原因究明を図り安全輸送を求める。

▽青森駅連の闘いに学び組織対策取り組んでいる。組織拡大の運動上でも長期遠距離通勤者解消の取り組みが大切だ。

▽岩泉線、JRは運転再開断念発表、地元住民と平行線をたどっている。再開に向け地区での署名など取り組んだ。また、山田線は4市町村が鉄道の再開を求めているが、JRはBRTでの再開を表明している。今後どう運動を展開していくのか。

▽青森地区協代表

▽JR北海道江差線の4月・9月の脱線事故、カーブで速度制限の個所だ。貨物台車が悪いのか地盤か、原因究明を図り安全輸送を求める。

▽青森駅連の闘いに学び組織対策取り組んでいる。組織拡大の運動上でも長期遠距離通勤者解消の取り組みが大切だ。

▽岩泉線、JRは運転再開断念発表、地元住民と平行線をたどっている。再開に向け地区での署名など取り組んだ。また、山田線は4市町村が鉄道の再開を求めているが、JRはBRTでの再開を表明している。今後どう運動を展開していくのか。

韓国・中国との領土問題に関わる緊張が高まっている。日本の主張は竹島・尖閣諸島と日本固有の領土で問題は存在しないであり、韓国と中国は、日本のアジア侵略の過程で奪われたものと主張する。主張は平行線のまま推移してきたが、野田政権が実施した尖閣諸島の国有化により中国と対立は一気に深まった。中国国内での反日デモ、尖閣諸島周辺への警備艇の連日の派遣、国連総会等での日本批判と激しさを増して行く。一方日本国内では、中国の一連の抗議行動に対する政府の対応が弱腰だという批判が強まり、軍事衝突もありうるという物騒な評論も聞かえてくる始末だ。「領土問題」で民族意識を煽り、「国を守れ」と声高に叫ぶのは戦争をしたがる人たちの常套手段だが、日中両国は非戦を約束して国交回復したことを忘れてはならない。▼外交のみならず国内政治も危険な状況だ。福島原発事故の原因究明や安全基準の見直しもなく原発は動いているし、欠陥機オスプレイは、多くの反対にも拘わらず日本中を飛び回ろうとしている。年収200万円以下が増加し、賃金は下がり続けている。消費増税が待ち受け、TPP参加で日本の農業が危機に晒される。武器輸出3原則は緩和されて改憲にむけた動きは活発に。これを見ても国民に背を向けた政策だらけだ。▼こんな政治を許しておいていいのか。このままでは戦前の道をまた歩かされることになりかねない。国民と真摯に向き合い、生命を大切に政治姿勢が今こそ求められている。早晩開かれる解散総選挙後の議席を、そういう姿勢の議員たちで占めたい(髭)

〈前のページから続く〉
 用者が配属、3人が国労への見習い。駅長・副駅長を入れた歓迎会も開催している。会社にも変化がある。趣味などを通じ拡大に取り組みたい。

▽新試験制度、資格のある人は受験しよう。拡大に向けて積極的な試験受験も大切。
 ▽単身赴任者の帰省に伴う代用証の改善の取り組みを。

◎田端文明代議員 (八戸運輸分会)
 ▽エルダー職場が確保されず、退職する人がいる。職場の確保に全力を上げてほしい。



大上利博代議員
〈大宮地域分会〉



小原典昭代議員
〈青森駅連合分会〉

執行部中間 答弁(要旨)

方針討論での執行部からの答弁要旨は次の通り。

◇ 組織減に伴う組織の在り方については、今後の検討は必要と考えている。

○エルダー組合員交流会の取り組みは、招集対象、周知方法・周知期間を含め検討する。

○新採配属に伴う技術継承を進め行くことになる。その中で繋がりを作っていく。

○江差脱線事故、本部・貨物協と連携し調査し対策を考えていく。

○長期遠距離通勤者の解消には今後も努力していく。

○岩泉線・山田線問題、議員団・地元・共闘会議などと連携し取り組んでいく。

○帰省代用証問題、制度的問題であり東日本本部に上げていく。

◎高橋清光代議員 (青森運輸分会)
 ▽今回の検査合理化は対象外の新幹線開業の関連で思う。アメニティが新会社に移行した。関連会社でも労働条件が悪い、エルダー社員が問題点を訴えても受け入れない。抜本的対策を求める運動を進めてほしい。条件が厳しく退職するエルダー社員もいる。

◎荒矢美登代議員 (盛岡施設分会)
 ▽盛岡保線技術センターに4人の女性社員が配属、自分の

▽労働協約締結問題、反対ではないが早期の締結が必要なのは疑問だ。慎重な対応を。 ◎笹山庸代議員 (八戸工務分会)

▽組織拡大の行動は、組合員の取り組みも前向きになってきている。また、分会でも全体・班として取り組むべきとの反省もある。

◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)
 ▽交通問題シンポジウムを多くの人に呼びかけて開催してほしい。

▽ワンマン事故防止のため、これ以上のワンマン化させない反対の取り組みを。

▽機関紙月1回発行、もう少しで200号に達する。国労を訴えていくものとして今後も発行に努める。

◎女子社員トイレ設置問題、機会あるごとに支社に要請している。気を使うことは十分理解している。

○2015年函館新幹線開業に伴う青森地区の職場問題については、本人希望も含めて取り組んでいく。

○ボウリング大会、多くの組合員・家族の参加できるように景品も含め検討していく。

○交通問題シンポジウムの開催は検討していく。

○労働協約締結問題、皆が締結には反対ではないと思う。東日本本部と意思統一を図っていくことになる。

○職場でのメール、事故問題などは、経営協議会の中でも話していく。管理者の質が低下している面もあると思う。

○春闘は旅客・貨物一体の取り組みとして行く。

▽労働協約締結問題、反対ではないが早期の締結が必要なのは疑問だ。慎重な対応を。 ◎笹山庸代議員 (八戸工務分会)

▽組織拡大の行動は、組合員の取り組みも前向きになってきている。また、分会でも全体・班として取り組むべきとの反省もある。

◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)
 ▽交通問題シンポジウムを多くの人に呼びかけて開催してほしい。

▽ワンマン事故防止のため、これ以上のワンマン化させない反対の取り組みを。

▽機関紙月1回発行、もう少しで200号に達する。国労を訴えていくものとして今後も発行に努める。

◎女子社員トイレ設置問題、機会あるごとに支社に要請している。気を使うことは十分理解している。

○2015年函館新幹線開業に伴う青森地区の職場問題については、本人希望も含めて取り組んでいく。

○ボウリング大会、多くの組合員・家族の参加できるように景品も含め検討していく。

○交通問題シンポジウムの開催は検討していく。

○労働協約締結問題、皆が締結には反対ではないと思う。東日本本部と意思統一を図っていくことになる。

○職場でのメール、事故問題などは、経営協議会の中でも話していく。管理者の質が低下している面もあると思う。

○春闘は旅客・貨物一体の取り組みとして行く。

○反原発・脱原発の運動は共闘団体と共に進める。

▽労働協約締結問題、反対ではないが早期の締結が必要なのは疑問だ。慎重な対応を。 ◎笹山庸代議員 (八戸工務分会)

▽組織拡大の行動は、組合員の取り組みも前向きになってきている。また、分会でも全体・班として取り組むべきとの反省もある。

◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)
 ▽交通問題シンポジウムを多くの人に呼びかけて開催してほしい。

▽ワンマン事故防止のため、これ以上のワンマン化させない反対の取り組みを。

▽機関紙月1回発行、もう少しで200号に達する。国労を訴えていくものとして今後も発行に努める。

◎女子社員トイレ設置問題、機会あるごとに支社に要請している。気を使うことは十分理解している。

○2015年函館新幹線開業に伴う青森地区の職場問題については、本人希望も含めて取り組んでいく。

○ボウリング大会、多くの組合員・家族の参加できるように景品も含め検討していく。

○交通問題シンポジウムの開催は検討していく。

○労働協約締結問題、皆が締結には反対ではないと思う。東日本本部と意思統一を図っていくことになる。

○職場でのメール、事故問題などは、経営協議会の中でも話していく。管理者の質が低下している面もあると思う。

○春闘は旅客・貨物一体の取り組みとして行く。

○反原発・脱原発の運動は共闘団体と共に進める。

▽労働協約締結問題、反対ではないが早期の締結が必要なのは疑問だ。慎重な対応を。 ◎笹山庸代議員 (八戸工務分会)

▽組織拡大の行動は、組合員の取り組みも前向きになってきている。また、分会でも全体・班として取り組むべきとの反省もある。

◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)
 ▽交通問題シンポジウムを多くの人に呼びかけて開催してほしい。

▽ワンマン事故防止のため、これ以上のワンマン化させない反対の取り組みを。

▽機関紙月1回発行、もう少しで200号に達する。国労を訴えていくものとして今後も発行に努める。

◎女子社員トイレ設置問題、機会あるごとに支社に要請している。気を使うことは十分理解している。

○2015年函館新幹線開業に伴う青森地区の職場問題については、本人希望も含めて取り組んでいく。

○ボウリング大会、多くの組合員・家族の参加できるように景品も含め検討していく。

○交通問題シンポジウムの開催は検討していく。

○労働協約締結問題、皆が締結には反対ではないと思う。東日本本部と意思統一を図っていくことになる。

○職場でのメール、事故問題などは、経営協議会の中でも話していく。管理者の質が低下している面もあると思う。

○春闘は旅客・貨物一体の取り組みとして行く。

○反原発・脱原発の運動は共闘団体と共に進める。

▽労働協約締結問題、反対ではないが早期の締結が必要なのは疑問だ。慎重な対応を。 ◎笹山庸代議員 (八戸工務分会)

▽組織拡大の行動は、組合員の取り組みも前向きになってきている。また、分会でも全体・班として取り組むべきとの反省もある。

◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)
 ▽交通問題シンポジウムを多くの人に呼びかけて開催してほしい。

▽ワンマン事故防止のため、これ以上のワンマン化させない反対の取り組みを。

▽機関紙月1回発行、もう少しで200号に達する。国労を訴えていくものとして今後も発行に努める。

◎女子社員トイレ設置問題、機会あるごとに支社に要請している。気を使うことは十分理解している。

○2015年函館新幹線開業に伴う青森地区の職場問題については、本人希望も含めて取り組んでいく。

○ボウリング大会、多くの組合員・家族の参加できるように景品も含め検討していく。

○交通問題シンポジウムの開催は検討していく。

○労働協約締結問題、皆が締結には反対ではないと思う。東日本本部と意思統一を図っていくことになる。

○職場でのメール、事故問題などは、経営協議会の中でも話していく。管理者の質が低下している面もあると思う。

○春闘は旅客・貨物一体の取り組みとして行く。

○反原発・脱原発の運動は共闘団体と共に進める。

▽労働協約締結問題、反対ではないが早期の締結が必要なのは疑問だ。慎重な対応を。 ◎笹山庸代議員 (八戸工務分会)

▽組織拡大の行動は、組合員の取り組みも前向きになってきている。また、分会でも全体・班として取り組むべきとの反省もある。

◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)
 ▽交通問題シンポジウムを多くの人に呼びかけて開催してほしい。

▽ワンマン事故防止のため、これ以上のワンマン化させない反対の取り組みを。

▽機関紙月1回発行、もう少しで200号に達する。国労を訴えていくものとして今後も発行に努める。

◎女子社員トイレ設置問題、機会あるごとに支社に要請している。気を使うことは十分理解している。

○2015年函館新幹線開業に伴う青森地区の職場問題については、本人希望も含めて取り組んでいく。

○ボウリング大会、多くの組合員・家族の参加できるように景品も含め検討していく。

○交通問題シンポジウムの開催は検討していく。

○労働協約締結問題、皆が締結には反対ではないと思う。東日本本部と意思統一を図っていくことになる。

○職場でのメール、事故問題などは、経営協議会の中でも話していく。管理者の質が低下している面もあると思う。

○春闘は旅客・貨物一体の取り組みとして行く。

○反原発・脱原発の運動は共闘団体と共に進める。

▽労働協約締結問題、反対ではないが早期の締結が必要なのは疑問だ。慎重な対応を。 ◎笹山庸代議員 (八戸工務分会)

▽組織拡大の行動は、組合員の取り組みも前向きになってきている。また、分会でも全体・班として取り組むべきとの反省もある。

◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)
 ▽交通問題シンポジウムを多くの人に呼びかけて開催してほしい。

▽ワンマン事故防止のため、これ以上のワンマン化させない反対の取り組みを。

▽機関紙月1回発行、もう少しで200号に達する。国労を訴えていくものとして今後も発行に努める。

◎女子社員トイレ設置問題、機会あるごとに支社に要請している。気を使うことは十分理解している。

○2015年函館新幹線開業に伴う青森地区の職場問題については、本人希望も含めて取り組んでいく。

○ボウリング大会、多くの組合員・家族の参加できるように景品も含め検討していく。

○交通問題シンポジウムの開催は検討していく。

○労働協約締結問題、皆が締結には反対ではないと思う。東日本本部と意思統一を図っていくことになる。

○職場でのメール、事故問題などは、経営協議会の中でも話していく。管理者の質が低下している面もあると思う。

○春闘は旅客・貨物一体の取り組みとして行く。

○反原発・脱原発の運動は共闘団体と共に進める。

2012年度 地方委員14人

2012年度の地方委員には次の14人が選出された。

▽盛岡支部 (9人)
 松島 義文 (盛岡運輸分会)
 岩脇 勇 (盛岡運輸分会)
 荒矢 美登 (盛岡施設分会)
 組木 勝則 (盛岡貨物分会)
 佐藤 弦悦 (一戸地域分会)
 照井 幸男 (北上駅連合分会)
 島山 孝 (北上工務分会)
 千葉 博季 (一関工務分会)
 小澤万寿男 (釜石地域分会)
 ▽青森支部 (5人)
 小原 典昭 (青森駅連合分会)
 奈良岡 勝 (青森施設分会)
 田村 公治 (青森貨物分会)
 岩崎 毅 (大湊地域分会)
 笹山 庸 (八戸工務分会)

▽活動報告と議員団会議 「地方議員団6人が参加」

地方議員団 (木村幸弘団長) の斎藤憲雄青森市議会議員 (4期目)、星敦子北上市議会議員 (3期目)、山崎道夫矢野町議会議員 (2期目) の3氏が大会に参加、議会の取り組みや選挙

へのお礼の挨拶を受けた。 木村幸弘青森市議会議員 (2期目・花巻選挙区)、久保孝喜青森県議会議員 (2期目・北上選挙区)、阿部一男花巻市議会議員 (9期目) は、議会の関係で大会での挨拶には間に合わず、12日夕方に開催された議員団会議への参加

議員団としての取り組みを意思統一した。木村、阿部議員からは、夕食懇親会の中で挨拶を受けた。奈良岡も前青森県議会議員は所用のため欠席。なお、木村幸弘議員が東北議員団団長と全国議員団副団長を務めている。

▽貨物会社の厳しい現状の中、国に対して恒久的な支援を求める闘いの強化を。

▽組織拡大に向け組織対策費を活用し取り組もう。青森、盛岡の貨物分会で飲み会や転勤者に声をかけ取り組んでいる。

▽トネル内にクマが出没、若い東労組の社員が軌道車を運転、1人作業は駄目とメセ長に抗議している。

▽踏切工事でも感電事故に繋がるような事象が発生し、技術継承もできていない。また、全てメール指示であり、何が大切な判断しにくい現状もある。

◎高橋涼特別代議員 (貨物協議会代表)
 ▽八戸地区に仕事がなく、単身赴任で盛岡での仕事。八戸地区職場確保の取り組みをお願いしたい。合わせて、若手社員への技術継承の取り組みも大切だ。

▽春闘、署名・集会など全力で取り組んだ。

「Renketu」が 最優秀賞を受賞

大会で2011年度の地方本部機関紙コンクールの表彰も行われた。

応募作品は、「可動橋」(青森駅連合分会)、「萌芽」(青森運輸分会)、「かわら版」(盛岡駅連合分会)、「盛岡」

せつ」(盛岡施設分会)、「盛岡電気」(盛岡電気分会)、「Renketu」(盛岡貨物分会)、「けんまい」(北上駅連合分会)、「国労北上地区協」(北上地区協)、「NRU気仙沼」(気仙沼地域分会)の9作品。

審査は、10月1日地方本部教宣部で行われた。なお、最優秀賞、優秀賞は次の通り。

◎最優秀賞 「Renketu」 (盛岡貨物分会)

◎優秀賞 「可動橋」 (青森駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

活動報告と議員団会議 「地方議員団6人が参加」

地方議員団 (木村幸弘団長) の斎藤憲雄青森市議会議員 (4期目)、星敦子北上市議会議員 (3期目)、山崎道夫矢野町議会議員 (2期目) の3氏が大会に参加、議会の取り組みや選挙

へのお礼の挨拶を受けた。 木村幸弘青森市議会議員 (2期目・花巻選挙区)、久保孝喜青森県議会議員 (2期目・北上選挙区)、阿部一男花巻市議会議員 (9期目) は、議会の関係で大会での挨拶には間に合わず、12日夕方に開催された議員団会議への参加

議員団としての取り組みを意思統一した。木村、阿部議員からは、夕食懇親会の中で挨拶を受けた。奈良岡も前青森県議会議員は所用のため欠席。なお、木村幸弘議員が東北議員団団長と全国議員団副団長を務めている。

▽貨物会社の厳しい現状の中、国に対して恒久的な支援を求める闘いの強化を。

▽組織拡大に向け組織対策費を活用し取り組もう。青森、盛岡の貨物分会で飲み会や転勤者に声をかけ取り組んでいる。

▽トネル内にクマが出没、若い東労組の社員が軌道車を運転、1人作業は駄目とメセ長に抗議している。

▽踏切工事でも感電事故に繋がるような事象が発生し、技術継承もできていない。また、全てメール指示であり、何が大切な判断しにくい現状もある。

◎高橋涼特別代議員 (貨物協議会代表)
 ▽八戸地区に仕事がなく、単身赴任で盛岡での仕事。八戸地区職場確保の取り組みをお願いしたい。合わせて、若手社員への技術継承の取り組みも大切だ。

▽春闘、署名・集会など全力で取り組んだ。

▽労働協約締結問題、反対ではないが早期の締結が必要なのは疑問だ。慎重な対応を。 ◎笹山庸代議員 (八戸工務分会)

▽組織拡大の行動は、組合員の取り組みも前向きになってきている。また、分会でも全体・班として取り組むべきとの反省もある。

◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)
 ▽交通問題シンポジウムを多くの人に呼びかけて開催してほしい。

▽ワンマン事故防止のため、これ以上のワンマン化させない反対の取り組みを。

▽活動報告と議員団会議 「地方議員団6人が参加」

地方議員団 (木村幸弘団長) の斎藤憲雄青森市議会議員 (4期目)、星敦子北上市議会議員 (3期目)、山崎道夫矢野町議会議員 (2期目) の3氏が大会に参加、議会の取り組みや選挙

へのお礼の挨拶を受けた。 木村幸弘青森市議会議員 (2期目・花巻選挙区)、久保孝喜青森県議会議員 (2期目・北上選挙区)、阿部一男花巻市議会議員 (9期目) は、議会の関係で大会での挨拶には間に合わず、12日夕方に開催された議員団会議への参加

議員団としての取り組みを意思統一した。木村、阿部議員からは、夕食懇親会の中で挨拶を受けた。奈良岡も前青森県議会議員は所用のため欠席。なお、木村幸弘議員が東北議員団団長と全国議員団副団長を務めている。

▽貨物会社の厳しい現状の中、国に対して恒久的な支援を求める闘いの強化を。

▽組織拡大に向け組織対策費を活用し取り組もう。青森、盛岡の貨物分会で飲み会や転勤者に声をかけ取り組んでいる。

▽トネル内にクマが出没、若い東労組の社員が軌道車を運転、1人作業は駄目とメセ長に抗議している。

▽踏切工事でも感電事故に繋がるような事象が発生し、技術継承もできていない。また、全てメール指示であり、何が大切な判断しにくい現状もある。

◎高橋涼特別代議員 (貨物協議会代表)
 ▽八戸地区に仕事がなく、単身赴任で盛岡での仕事。八戸地区職場確保の取り組みをお願いしたい。合わせて、若手社員への技術継承の取り組みも大切だ。

▽春闘、署名・集会など全力で取り組んだ。

▽労働協約締結問題、反対ではないが早期の締結が必要なのは疑問だ。慎重な対応を。 ◎笹山庸代議員 (八戸工務分会)

▽組織拡大の行動は、組合員の取り組みも前向きになってきている。また、分会でも全体・班として取り組むべきとの反省もある。

◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)
 ▽交通問題シンポジウムを多くの人に呼びかけて開催してほしい。

▽ワンマン事故防止のため、これ以上のワンマン化させない反対の取り組みを。

「Renketu」が 最優秀賞を受賞

大会で2011年度の地方本部機関紙コンクールの表彰も行われた。

応募作品は、「可動橋」(青森駅連合分会)、「萌芽」(青森運輸分会)、「かわら版」(盛岡駅連合分会)、「盛岡」

せつ」(盛岡施設分会)、「盛岡電気」(盛岡電気分会)、「Renketu」(盛岡貨物分会)、「けんまい」(北上駅連合分会)、「国労北上地区協」(北上地区協)、「NRU気仙沼」(気仙沼地域分会)の9作品。

審査は、10月1日地方本部教宣部で行われた。なお、最優秀賞、優秀賞は次の通り。

◎最優秀賞 「Renketu」 (盛岡貨物分会)

◎優秀賞 「可動橋」 (青森駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「Renketu」が 最優秀賞を受賞

大会で2011年度の地方本部機関紙コンクールの表彰も行われた。

応募作品は、「可動橋」(青森駅連合分会)、「萌芽」(青森運輸分会)、「かわら版」(盛岡駅連合分会)、「盛岡」

せつ」(盛岡施設分会)、「盛岡電気」(盛岡電気分会)、「Renketu」(盛岡貨物分会)、「けんまい」(北上駅連合分会)、「国労北上地区協」(北上地区協)、「NRU気仙沼」(気仙沼地域分会)の9作品。

審査は、10月1日地方本部教宣部で行われた。なお、最優秀賞、優秀賞は次の通り。

◎最優秀賞 「Renketu」 (盛岡貨物分会)

◎優秀賞 「可動橋」 (青森駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)

「けんまい」 (北上駅連合分会)